

令和6年度 大阪府立桜塚高等学校 第2回 学校運営協議会（議事録）

令和6年 10月 11日（金）

校長

委員 元森ノ宮医療学園校長（元大阪府立高校校長）、豊中市立第三中学校校長、
大阪府立桜塚高等学校 PTA 会長、豊中市地域教育協議会会長、
尚和会会長、桜援会会長、

事務局 教頭、事務部長、首席、教務主任、教務部副主任（情報）、生徒指導主事、
生徒指導部副主任（自治会）、進路指導主事、保健主事、各学年主任、書記

1 校長、会長 挨拶

2 報告

（1）生徒の活動状況について

①進路状況

指定校推薦入試の選考結果報告（昨年度と比べてやや減）

共通テスト出願（昨年度より3名増）

②部活動・行事等

部活動

部活動加入率：1年生の加入率89.7%（全学年ともにやや減）

行事

体育祭（暑さが続いていたため、水分補給をこまめにとりながら実施）

桜化祭：来場者約2200名

昨年度と同様来場者の制限を設けて実施。

昨年度からの改善点としてリストバンドを配布したことが、再入場の混雑緩和につながった。

大槌高校とのタイアップ企画も実施。

③生活指導状況

・遅刻について

昨年度に比べてやや増（昨年度：983人 今年度：1040人）

さまざまな事情を抱える生徒が増えてきているため、今年度から遅刻数の目標値を設定しないことにしたが、寝坊やさぼりなどの遅刻を減らしていくことを指導していく。

・服装

今年度、全学年新制服となった。

遅刻防止週間とあわせて制服の着こなし・マナーの指導を徹底した。

女子生徒のスカートの改造や、丈が短い生徒が増えてきている。

・挨拶について

目標：自ら挨拶できること。

7月に生徒指導部、自治会、風紀厚生委員と協力して朝の挨拶運動を実施した。

④その他

・授業アンケート（7月）結果

令和元年から着実に上がってきている。

本年度の9項目の平均：3.46（ほとんどの生徒が「あてはまる」にしている）

〔授業が楽しい＝学校が楽しい〕に繋がる

ICTを導入して授業スタイルが変わった

・朝学について

読解力をつける必要がある。

「論理エンジン」→朝学には不向きと判断

来年度以降：「リテラス」（教育産業の論理言語力育成コンテンツ）導入（週2回）

※ 79期生（2級）、80期生（3級）で実施。

※ 再来年度は3年への導入を検討。

リテラス実施以外の3回は英数国（内訳は検討中）

・長い文章を読めないし、書けない。長い放送も聞けない生徒が増えてきている。

・テレビでもダイジェスト版を見て概要さえ掴めば満足する人が増えてきている。（委員）

・全体に話をしている時は聞かず、後で聞きなおす子どもが増えてきている。人の話は聞かないけれど、書くことはできる。（委員）

・国際交流の取り組みについて

<学校間の交流>

韓国（姉妹校）R6年5月23日（木）来校

韓国オンライン交流 7月10日・12月実施予定

<校内での交流>

アメリカからの留学生の受け入れ 令和6年8月末～令和7年1月末

インドネシアからの交流生徒受け入れ 11月12日（火）

<海外語学研修>

ニュージーランド語学研修 令和7年度3月7日～16日

（生徒24名参加予定 添乗員2名の引率）

韓国異文化理解研修 令和7年3月下旬予定

Q5月の交流はどんな感じだったのか

A授業見学や昼食を一緒に食べたり、1時間自由時間で交流をした。

Qニュージーランドの費用はどのくらいなのか

Aすべて込みで40万円くらい

・各学年の状況について

1年生

長期間の欠席は0人

遅刻の数や身だしなみの乱れも増加

2学期以降の全体的な学力の低下の恐れ

<スタディサポート>

第一回：英語の学力が低下

第二回英語が上がって数学が低下

学年全体の底上げや上の学力を伸ばすことを担任団で検討中

2年生

1年生の時よりも生徒間のトラブルは減少

修学旅行では人間関係のトラブルもなかった。

模試結果も順調に伸び続けている。

Q修学旅行はどこに行かれたのか

A伊江島

Q中学生はどこに行っているのか

A豊中市は信州だが、来年度から沖縄に行く予定（沖縄は協定都市）

Q中学校で沖縄に行くと、高校ではどこに行くか迷うのではないか。

A実際に今年の修学旅行で、中学校の修学旅行において伊江島で民泊をしたことがある生徒がいて、ホストファミリーと久しぶりの再会をすることができて喜んでいました。

3年生

進路実現が最大の目標である。

夏休みを挟み、文化祭と並行して指定校推薦入試の結果もあった。

指定校推薦は昨年度より若干減少している。共通テストの受験者は若干増加しているがほとんど例年通り。

高校の3年間は心身ともに成長する大事な時期である。学年が上がることに成長していることを実感している。（委員）

Q心の悩みで登校できない生徒にはどういった対応をしているのか

A個別で対応しているが、残念なことに転学をする生徒もいる。

コロナ禍の影響で中学校も状況が変わっていて、長期欠席をする生徒も増えている。それを考えると1年生の長期欠席者0人はすごい。(委員)

(その他委員からの情報)

Q中学生の志願状況はどういう感じなのか

A私学志向が強まっている。私学専願の志望者は増えてきている。

はやく決まりたいという気持ちが大いいのではないか。(委員)

Q私学の広報はポスターいつ頃に送って来るのか

Aはやい学校では4月。年々ポスターが増えてきているという印象。(委員)

Q私立と公立の広報活動に違いはあるのか。

A全く違う。(委員)

私学は広報の担当が毎週のように来校する。

次回(第3回) 予定 R7年1月31日(金) 15:00~(予定)